

キャリア教育研究冊子の発刊にあたって

校長 山田 定宏

このたび、4年間にわたる「キャリア教育研究」のまとめと報告をこの冊子でおこなうこととなりました。

本研究の実施に当たっては、運営会議の課題別会議として「キャリア教育プロジェクト会議」を設置し、全校体制で計画的に取り組みました。本校の「キャリア教育研究」のテーマは「自分らしく、人とともに、今を生きる力を」です。このテーマ設定にあたっては、日本におけるキャリア教育研究の第一人者である渡辺三枝子先生から多くを学びました。この研究冊子に収録しているとおり渡辺先生には、職員研究会に講師としてもお越しいただき、私たち教職員に貴重な視点を与えていただきました。

キャリア教育研究は、全国の多くの学校で行われてきましたが、本校における研究の特徴は狭義の「職業自立を目指したキャリア教育」ではなく、すべての子どもたちの学びの質を高めるという視点を大切にした「教育改革運動」（渡辺先生）としての研究である点です。また、「キャリア教育研究を通じて教育課程の一貫性、系統性を図る」という目的も研究の大きな柱でした。

「自分らしく、人とともに、今を生きる力を」というテーマは、すべての子どもたち、すべての教育活動を通底する視点です。「自分らしく」という視点は、「みんな違ってみんないい」という概念につながります。「人とともに」という視点は、「共生社会の実現」という概念につながります。また「今を生きる力を」という視点は「ICF」の障害概念の中核であると考えます。

上記の全校テーマを元に小学部は、「好きなこと　好きな人をつくり広げ自分の思いが出せる子に」、中学部は、「中学部時期につけたい力について研究を進める」、高等部は、「卒業後の豊かな生活につながる高等部の教育実践を考える」、寄宿舎部は「子どもたちの本当の願いを大切にした実践を」という研究目標を設定し、授業研究をとおした研究に取り組みました。「キャリア教育研究を通じて教育課程の一貫性、系統性を図る」という目的に関しては、残念ながら道半ばであり、引き続き課題であると考えています。なお、次年度は、学校教育目標をこの研究を通して得たキャリア教育の視点を生かした新たな学校教育目標へと改定する予定です。

本研究に際しては、本校生徒の進路先である企業の方や諸施設の方々の御協力をいただきました。また、研究者の渡辺三枝子先生、名古屋恒彦先生の御指導・御助言をいただきました。ここに改めて心よりお礼申し上げます。

キャリア教育プロジェクト会議を中心として全校で取り組んできた本校の「キャリア教育研究」のまとめとしての本冊子を御一読いただき、忌憚のない御意見、御助言をいただくことをお願いし、発刊に際しての御挨拶といたします。

